

令和6年7月23日発行  
京都府丹後保健所 保健課  
(丹後地域包括ケア推進社)



## 1 令和6年度オレンジロードつなげ隊・認知症地域支援推進員合同研修会が開催されました！

去る7月19日にオレンジロードつなげ隊・認知症地域支援推進員との北部地域の合同研修会が綾部市で開催されました。

当日、丹後管内からは、つなげ隊員17名（10名の新規隊員を含めむ）及び市町担当者を含めた計25名の参加がありました。

午前中は新規隊員向けに「オレンジロードつなげ隊として活動するため」の講義が行われ、午後からは昨年度の丹後管内研修でもご講演いただいた若年性認知症当事者・家族及び若年性認知症支援コーディネーターからの講演がありました。

テーマは「『やってみよう』をやってみる～いろんな仲間と共にたのしむ日々について～」で、その後のグループワークでも当事者の希望に沿って具体的なイベントを考えました。

### <出されたアイデアの抜粋>

- 大学や高校で認知症応援大使に話をしてもらい、直接言葉を聞いてもらいたい。
- スポーツやウォークラリーなどを活用したイベント
- ウォークイベントでは歩けなくても、協賛金での参加も可能にする。
- 働き盛りや若い世代に認知症を知ってもらうきっかけとして、授業参観などを利用
- 当事者に郷土料理を教えてもらい、ゆくゆくは郷土料理のグルメフェスを開催
- 夏祭りを開催し、写真をたくさん撮ってもらい、他地域にも広げたい。
- 当事者の頑張っているところや、生き生きしている姿を動画で配信、見る人が元気になるような内容にする。
- 当事者の手芸作品等を展示する。
- 当事者に昔のおもちゃ作りを教えてもらう。
- サポーター養成をした小学生にメッセージカードを作ってもらい、それを付けたオレンジ色のひまわりの花束を配布する。ラッピングなどの作業も分担し、手伝ってもらう。



当事者を含む講師の方々から、「多様性のあるいろいろなアイデアで良い。人それぞれ合う合わないがあるから色々なイベントがあると選べるから。」「本人の声を聞き、紆余曲折しながら続けることが大切」「本人に企画から入ってもらうことが大事」「作品展示だけでなく、販売までしたらさらに喜ぶと思う。」という講評もありました。

これらのアイデアをこの場限りにせず、出来ることから進めて行けると良いなあ～と思える具体的な内容のものばかりでした。参加した人もしていない人も、今後も啓発活動の幅を拡げて、認知症の正しい理解が広がるようにご協力をお願いします。

